

《 労 働 災 害 発 生 状 況 》

1 署別・業種別件数(平成29年分)(前月状況一部修正しました。) 平成29年11月末速報

署別	業種別		土木工事		建築工事		設備工事		計		前年同期		全産業	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
金沢監督署	①	10	(9)	38	15	①	(9)	63	①	42	③	553		
小松監督署	①	4	(5)	11	3	①	(5)	18		23	①	188		
七尾監督署		4	(4)	6	②	②	(4)	18		23	③	118		
穴水監督署	①	5	①	(5)	8	1	②	(5)	14	①	11	③	66	
計	③	23	①	(23)	63	②	27	⑥	(23)	113	②	99	⑩	925
前年同期	②	25	(24)	60	14	②	(24)	99	②	99	⑨	840		

()内は木建工事 ○内は死亡者数 前年同期の建築工事(修正後掲載)

●建設関係の災害は、前年と同件数で推移しています。

2 署別・業種別件数(平成28年分 確定値) ()内は木建工事 ○内は死亡者数

署別	業種別		土木工事		建築工事		設備工事		計		前前年		全産業	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
金沢監督署		15	①	(11)	34	5	①	(11)	54	②	(15)	64	⑥	590
小松監督署		4	(4)	19	4	(4)	27	(3)	23	①	225			
七尾監督署		5	(10)	14	4	(10)	23	(7)	20	117				
穴水監督署		4	①	(7)	9	1	(7)	14	(5)	18	②	55		
計		28	②	(32)	76	14	②	(32)	118	②	(30)	125	⑨	987
前前年		29	②	(30)	75	21	②	(30)	125	②	30	123	⑩	1,010

3 全産業死亡災害事例 (平成29年分・石川労働局速報)

No.	発生日	業種	災害種類	発生状況	被害状況		会員非会員別	
					死亡	その他	所属企業	元請企業
1	1月	新聞販売業	交通事故	新聞配達のため道路を横断中、トラックにはねられ死亡	60代	—	—	—
2	2月	小売業	火災	店舗の電気ストーブから衣服に引火し全身火傷で死亡	60代	—	—	—
3	2月	土木工事業(河川工事)	墜落転落	水路工事ののり面整形中、高さ約1mの小段から水路に転落し死亡	40代	—	—	—
4	2月	製材業	製材業	移動式クレーン(挟み装置)を用いて丸太を一点吊りで移動中、丸太が抜けて被災者に当たり死亡	50代	—	—	—
5	3月	木造家屋建築工事業	墜落転落	屋根の葺き替え工事中、雨の為作業を中断し降りる途中で屋根から墜落し死亡	70代	—	—	—
6	4月	砂利採取業	墜落転落	土砂の掘削、排出作業中、不整地運搬車ごと転落し死亡	70代	—	—	—
7	5月	その他建設業	墜落転落	搭乗用搬器を移動式クレーン(ドイツ製)で吊り上げ後、ジブを徐々に倒し作業半径28mとなったとき、ジブが縮み搬器が落下した	50代 40代	—	—	—
9	6月	トンネル建設工事業(土木工事)	墜落転落	伐採木の集積作業をグラブプを用いて行っていたところ、工事用路肩の一部が崩壊し10m下にグラブプごと転落した。	60代	—	—	—
10	8月	土地整理土木工事機容	はさまれ巻込まれ	小型単軌道運搬機(モノレール)を利用して集水用溜枿作業中に、後退してきた当該モノレールの荷台に体を挟まれた。	70代	—	—	—

4 死傷災害の推移 発生件数欄の上欄()内は死亡者数

事項別	年	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		発生件数	全産業(A)	(8) 1,194	(16) 1,175	(16) 1,139	(20) 1,084	(11) 1,085	(11) 1,137	(11) 1,091	(8) 1,053	(15) 1,067
	建設業(B)	(2) 164	(4) 125	(5) 142	(5) 175	(3) 139	(3) 140	(5) 137	(1) 129	(6) 158	(2) 125	(2) 118
割合(%)	(B)/(A)	13.7	10.6	12.5	16.1	12.8	12.3	12.6	12.3	14.8	12.3	12.0
対前年比(%)	全産業	0.8	▲ 1.6	▲ 3.1	▲ 4.8	0.1	4.8	▲ 4.0	▲ 3.5	1.3	▲ 4.8	▲ 2.9
	建設業	13.1	▲ 23.8	13.6	23.2	▲ 20.6	0.7	▲ 2.1	▲ 5.8	22.5	▲ 20.9	▲ 5.6